

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		老年看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	後期	教室名	1年生教室・実習室
担 当 教 員		中村 裕子	実務経験と その関連資格	医療施設にて看護師として働いていた。			
《授業科目における学習内容》							
老年期は加齢に伴い健康状態や生活機能の低下、生活する場所や社会的役割の変化を体験する。ライフサイクルのなかで、人生の最終ステージを迎え、生きてきた環境・条件 の相違から個人差が大きくなる。本授業では人間的成熟・統合に向かって発達する老年期にある対象の特徴や、取り巻く社会的環境について学ぶ。また、個々の可能性を引き出し、その人らしい生活が送れるように援助・支援するための老年看護の在り方を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
出席状況、課題提出状況、筆記試験での総合的評価。 課題提出20%、筆記試験80%。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
専門分野 老年看護学(医学書院) ブチナース老年看護 ぜんぶガイド(照林社)□ □							
《授業外における学習方法》							
予習を行い、次回授業に臨む。授業後は配布資料・ワークシートや教科書での復習を行う。							
《履修に当たっての留意点》							
未知なる老いを学ぶにあたり、身近な高齢者とコミュニケーションをとることや高齢者疑似体験をすることで高齢者の気持ちを常に思考しながら授業に臨みましょう。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	老年期の対象の特徴(加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化)を理解する。バリアフリーや自助具の効果を考えることができる。		1. 高齢者疑似体験セット 2. ジャージ、ナースシューズ 3. 課題レポート	事前学習 高齢者の身体的心理的社会的変化、それらによる生活への影響について考えておく(20分) 事後学習 体験し気づいたこと考えたことなどレポートにまとめる(40分)	
		各コマにおける授業予定	「老いる」ということについて学ぶ①(高齢者疑似体験)				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症という疾患を正しく理解し、疾患を抱える人の想いや生活、求められる支援について考えることができる。		1. 認知症サポーター養成講座資料(講師が準備) 2. 課題レポート	事前学習 認知症について、現在の自分が知っていること、イメージや疑問を明確にしておく(20分) 事後学習 講義で学んだこと、考えたことなどポートにまとめる(40分)	
		各コマにおける授業予定	認知症という疾患、認知症を抱える人について学ぶ (認知症サポーター研修受講)				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	老いについて考えることを通して、老年期における発達課題と老化の特徴について述べることができる。		テキスト①② 配布資料	事前課題:テキスト第1章. の範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める	
		各コマにおける授業予定	老年期の発達課題、加齢と老化について学ぶ				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者を取り巻く社会の現状を知り、高齢者に関わる社会制度について説明できる。		テキス①② 配布資料	事前課題:テキスト第2章. の範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める	
		各コマにおける授業予定	高齢者を取り巻く社会制度について学ぶ				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者に対する差別、虐待などの実態を知り、高齢者の権利を擁護することの重要性や、高齢者の尊厳について考えることができる。		テキスト①② 配布資料	事前課題:テキスト第2章. Cの範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める	
		各コマにおける授業予定	高齢者の権利擁護について学ぶ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年看護に活用される主な理論や概念的アプローチの特徴を説明できる。	テキスト①② 配布資料	事前課題:テキスト第3章. Cの範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	老年看護に活用できる理論・アプローチを学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化を知り、高齢者を理解する視点をもつことができる。 高齢者の特徴を多面的にとらえることで、高齢者の多様性や個性について考えることができる。	テキスト①② 配布資料	事前課題:テキスト第IV章. の範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	老年看護の対象となる人々の特徴について学ぶ①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化を知り、高齢者を理解する視点をもつことができる。 高齢者の特徴を多面的にとらえることで、高齢者の多様性や個性について考えることができる。	テキスト①② 配布資料	事前課題:テキスト第IV章. の範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	老年看護の対象となる人々の特徴について学ぶ②		